

令和6年第3回
西条市教育委員会 3月定例会会議録

西条市教育委員会

令和6年第3回西条市教育委員会 3月定例会会議録

- 1 開 会 2月20日(火) 午後3時28分
閉 会 同 日 午後4時32分

2 出席及び欠席

出席者	教育長	伊藤隆志
	教育長職務代理人	福田亜弓
	委 員	磯 恒子
	委 員	鳳 慶洲
	委 員	一色一成

3 会議に出席した者

教育指導監	黒河幸彦
副局長兼学校教育課長	戸田章裕
教育総務課長	白石 元
社会教育課長	黒瀬眞禎
学校教育課指導主幹	吉岡健二
西条図書館長	越智秀樹
人権擁護課長	安倍和紀
教育総務課主幹	村上彰彦
教育総務係長	田口剛洋

4 会議録署名委員

3番委員	鳳 慶洲
4番委員	一色一成

- 5 議 案 議案第6号 令和6年度西条市の教育基本方針について（教育総務課）
議案第7号 令和6年度当初予算について（各課）

6 傍 聴 者 なし

7 議事の概要

- 教育長 ・ただ今から、令和6年第3回教育委員会3月定例会を開催する。
- 教育長 ・本日の会議録署名委員に鳳委員と一色委員を指名する。
・日程第3 教育長の報告に入り、副局長に報告を求める。
- 副局長 ・教育長の事業、実施17件、予定19件、西条市人権・同和教

育研究大会、西条市ワクワク大賞授賞式予定等について報告する。

- 教育長 ・この報告について質問等ないか問う。
- 鳳委員 ・高校生海外スタディーツアーが予定されているが、中学生が夏休みに行っていた海外研修は中止になっているのか。
- 学校教育課長 ・中学生については、平成3年にスタートしていると聞いているが、数年前から休止となっており、再開についての議論は今のところない。市としては、高校生の海外スタディーツアーに特化しているという状況である。
- 礒委員 ・橘地区のタウンミーティングは、意見交換、学校規模適正化等の話も出たと聞いたが、どのような話し合いだったのか。
- 教育長 ・学校を残してほしいという思いもあるが、子供達の教育環境の充実、子供達の教育の質を確保するためには仕方がないのではないかという意見の方が多く理解を示してくれた。高齢の方から「学校が統合になったとしても、学校に関わるものを残してほしい」という意見もあった。
- 福田委員 ・2月13日に西条小学校で行われた、にほんご指導教室公開授業及び研修会に参加した。指導をしてくださる先生に感謝している。外国人児童や外国からの帰国児童など、日本語や習慣に慣れていない子供たちのための教室であるが、どのようなシステムの流れになっているのか、今一度教えてほしい。
- 吉岡指導主幹 ・教育委員会に申込をしていただき、実際に使用する教室を見ていただき、担当の先生との面談を行う。西条小学校以外に在籍している児童は、保護者の送迎を条件とし、通級教室の実施要項を満たしていることや、面談の結果によって教育委員会が通級の可否の判断をしている。現在、授業を受けているのは、西条小学校以外に在籍している児童が多い。
- 一色委員 ・今年度の中学校卒業生の保護者から、中学校の卒業式と西条市内の高校入学の説明会の日時が重なっており、高校の説明会は保護者同伴となっているため中学校の卒業式に出席ができず困っているとの報告を受けた。
- 福田委員 ・3月9日から高校生が海外スタディーツアーに参加するとい

うことで、西条市で育った多くの生徒が挑戦意欲、責任感や使命感をもって応募をされたと思う。子供達の成長をうれしく思う。中学生は海外研修を休止していると聞いたが、語学教育というものは一貫して継続していくことが大切だと思う。中学校でも出来ることはあると思うので、高校生の海外スタディーツアーに行くまでの過程で、英語教育を支援していくことが大切だと思う。小学校5年生から英語の教科が入ってきており、語学教育における小・中・高の一貫性の流れの構築が必要となってくると思う。

一色委員

・海外スタディーツアーの訪問先、サンフランシスコがあるカリフォルニア州では、お茶が流行っている。日本茶を含めたお茶の市場が広がっている。西条は石鎚黒茶の産地なので、お土産として持参し、実際にお茶を煎れる体験を行うなど、お茶を通じた交流を広めていけたら良いPRになるのではないかと
思う。

礒委員

・にほんご教室の教員は加配なのか。本当は中学2年生だが小学6年生で授業を受けている児童が今治東高校に進学するらしいが、教員が学年を決めているのか？

吉岡指導主幹

・加配である。教育委員会と担当の先生とのにほんご教室連絡協議会があり、方針については打ち合わせをしている。実際の指導方針は校長と担当先生が決定し、それを教育委員会に報告していただいている。日本語を話せない児童は、算数・数学の力のレベルに合った学年に合わせるとしている。中学校には、にほんご教室がないため、小学校に入らないといけない状況の時に、スタート学年を中学2年生は小学校6年生、中学1年生は小学校5年生の2学年下げてであれば、授業内容を理解しやすいため、そのような方針で対応している。
以前は中学生がにほんご教室へ中学校から通ってきていた。

教育長

・他に意見等ないか問う

(意見なし)

教育長

・続いて日程第4 議案に入る
・議案第6号「令和6年度西条市の教育基本方針について(教育総務課)」を議案とする。事務局より説明を求める。

(教育総務課長説明)

- 教育総務課長 ※議案第6号「令和6年度西条市の教育基本方針について（教育総務課）」
- 教育長 ・この報告について質問等ないか問う。
- 鳳委員 ・修正後、後ろにあった5つのポイントを前にもってきたとのことだが、すごく良い構成になったと思う。
- 礒委員 ・推進目標のところ、学び合い学習というのが追加されたことで、人間教育が全面に出てきて、元教員としては穏やかな楽しい教育ができるようなイメージが沸く。読んでみようよと、うれしい気持ちになった。生徒指導の充実や業務改善の精神など追加されているが、とても必要なことであり、先生方にも見ていただいたら授業のイメージが沸くと思う。
6ページのところで、「児童生徒一人1台タブレット端末の持ち帰り学習の推進と充実」とあるが、児童がタブレットを持ち帰って、どのソフトを利用したかを把握できるシステムがあるのか。
- 吉岡指導主幹 ・家庭に持ち帰ってのタブレット学習の内容は様々であるが、基本的なドリルは、Wi-Fi環境があれば自分のIDにアクセス後に学習することができ利用の把握ができる。タブレットに配布されたオフラインで出来る宿題もある。家のWi-Fi環境にもよるので、全家庭にWi-Fi環境を整えば、利用状況を把握することができる。愛媛県独自のCBTシステム、えひめICT学習支援システム「EILS」のソフトの中で、タイピングの練習ゲームは多くの児童が利用している。
- 福田委員 ・「今年度の学校教育が特に目指す「5つ」のポイント」が示されたことによって非常に分かりやすくなった。良かったと思う。5つのポイントの順番はどうやって決めたのか。1が「学びあい学習」の推進となっているが、「今年度の学校教育が特に目指す「5つ」のポイント」の後に続く文面は、3のいじめ・不登校対策の充実というところからスタートしているため気になった。
- 吉岡指導主幹 ・まだ修正ができるため検討の余地がある。業務改善など、様々なことがものの、5つに絞っているため、今後修正していく。

教育長

・他に意見等ないか問う。

(意見なし)

・意見がないようなので採決してよろしいか問う。

(異議なしの声)

・議案第6号「令和6年度西条市の教育基本方針について(教育総務課)」、賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

・議案第6号について、原案どおり決することとする。

・議案第7号「令和6年度当初予算について(各課)」を議案とする。事務局より説明を求める。

(教育総務課長説明)

教育総務課長

※議案第7号「令和6年度当初予算について(教育総務課)」

教育長

・この報告について質問等ないか問う。

一色委員

・(仮称)東部給食センターの整備事業についてお伺いしたい。PFI方式によって業者が選定されるということだが、この方式は、事業実施し費用を支払うのは業者で、その建屋をそのまま買い取るという流れと把握している。費用が事業費に計上されている約28億円を超えた場合や、下回った場合はどのような対応をするのか。

村上主幹

・予算のうちの27億2千万円ぐらいが引き渡しによるサービス対価という形でお支払する形となっている。物価上昇等があるので1.5ポイントまでは業者負担となる。1.5ポイントを超えると対価という形で残工事分を市が負担するという契約になっている。細かい規定があり契約後一年を過ぎると業者から申し出があり、双方で検証し金額を決定する。契約の一年後である令和6年の6月から業者が物価上昇に伴う契約金額の変更を申し出ることある。

一色委員

・契約終了後、業者負担分の支払いを求めてくる業者がいると問題になっていると耳にしたことがある。西部にも新たな施設

を建設することになった場合、引き渡しや契約のことも含めて、全体の予算規模的に大きな金額が動く可能性があるため、金額面に留意された方が良いと思う。

福田委員 ・グローバルイングリッシュスクール事業についてお伺いする。新たに民間から派遣される指導力を有する ALT となっているが、その根拠とはなにか？

学校教育課長 ・民間の事業者に委託を想定しているが、母国で教員の資格を取得した方、在住で子供達を指導できる能力を持った方としている。

福田委員 ・令和6年9月より、14名になるというが、小学校・中学校どのような配置となるのか。

学校教育課長 ・将来的には各学校に ALT を配置していきたい。来年度に関しては、取り組みの初年度ということもあり、財政部局との協議の結果、新たな9名の ALT の招聘、現在の継続で5名、合わせて14名の体制となる。各学校に1名という配置ができないため、ある学校を拠点校として、複数の学校を担当していただく形を想定している。具体的な編成内容は今後詰めていく予定である。

福田委員 ・オンライン学習や ICT 機器を効果的に活用し、学校によって授業に差がないように英語教育を取り込んでいただくことをお願いしたい。

一色委員 ・グローバルイングリッシュスクール事業は、母国で資格を取得し、教員としての能力がある方に来ていただけるなら、西条で英語を学ぶ機会を設けていただきながら、さらに興味を深く示した児童を中心に、先生たちが児童を連れて母国の環境を見に行く機会を義務教育の中で設けても良いのではないかとと思う。以前はニュージーランドに訪問していたと思うが、時代と共に訪問先は変わっていてもいいのではないかと。今は休止とのことだが、再開できるタイミングがあれば行っていただきたい。

民間プール等活用モデル事業について、保護者の方からの意見があった。現在、民間のプールは見学が可能となっている。児童が利用するという情報が入った場合、関係者以外の方が見学に来られる等、防犯面の心配をされており、対策をお願いしたい。

学校教育課長 ・グローバルイングリッシュスクール事業は、これから民間事業者を一般公募での募集を行うが、英語が母国語であり英語教育に熱心なフィリピンの事業者を想定しており、招致に適していると考えている。先進市の手法では、フィリピンの特定の都市とパートナーシップ協定のようなものを結んでおり、お互いの地域交流につながるような取り組みをしているケースがある。西条市においても、可能であればこのような取り組みに挑戦していきたい。交流の中で海外スタディーツアーを行うことも考えられる。

民間プール等活用モデル授業について、ご提言に感謝する。新たな環境での取り組みとしては、机上で考えただけでは、想定していないような事象が発生する可能性がある。そのためのトライアル授業でもあるが、子供達への安全の確保、気持ちの良い授業の実践も大切であり、より良い方向を模索していきたい。

鳳委員 ・学校教育課関係の事業費関係で前年度より予算がマイナスになっているものが多いが、この要因は生徒数の減少が大きいのか？

学校教育課長 ・予算編成にあたっては、財政的な調整がある中で、グローバルイングリッシュスクール事業、学校規模適正化等検討事業を予算の経費として計上している。一定の調整をしなければならぬという現状である。学校としては消耗品が足りないという声を聞く。事業費としては圧縮している部分だが、学校運営に支障をきたすような備品購入費や消耗品費などの削減を行い、新規事業に取り組んでいるということではないので、ご安心いただきたい。

教育長 ・他に意見等ないか問う。

(意見なし)

・意見がないようなので採決してよろしいか問う。

・議案第7号「令和6年度当初予算について(各課)」、賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

・議案第7号について、原案どおり決することとする。

教育長

・続いて日程第5その他 報告事項に入る
・令和6年度教育委員会定例会の日程について・西条北中学校外壁剥落事故について（教育総務課）」事務局より説明を求める。

教育総務課長

（教育総務課長説明）
※令和6年度教育委員会定例会の日程について・西条北中学校外壁剥落事故について（教育総務課）」

・ほかに意見等ないか問う

（意見なし）

・令和6年第3回教育委員会3月定例会を閉会する。

了

会議録署名委員

3番委員

4番委員